

文学研究科の学位授与の方針（Diploma Policy：D P）

文学研究科は、博士前期課程において以下に掲げる要件をすべて満たし、所定の単位を修得した上で修士論文（研究コース）又は特定課題研究の成果（総合コース、英語教育コース）を提出して最終試験に合格した者に対し、「修士（文学）」（英米文学専攻、日本文学専攻）又は「修士（学術）」（社会文化論専攻）の学位を授与する。

また、博士後期課程において以下に掲げる要件をすべて満たし、所定の単位を修得した上で博士学位論文を提出して最終試験に合格した者に対し、「博士（文学）」（英米文学専攻、日本文学専攻）又は「博士（学術）」（社会文化論専攻）の学位を授与する。

（1）博士前期課程

<英米文学専攻 研究コース>

【専門分野の知識・理解】

（D P 1）イギリス文学文化、アメリカ文学文化、英語学、英語教育の分野のいずれかにおいて十分な専門知識を修得している。

（D P 2）D P 1に加えて、コア・カリキュラムの履修により、より幅広い視野から専門分野の研究が行える基礎的知識を修得している。

【研究能力及び発信力】

（D P 3）イギリス文学文化、アメリカ文学文化、英語学、英語教育の分野のいずれかにおいての研究者として、自立可能な研究能力及び研究成果を適切に表現する論文作成能力を修得している。

（D P 4）修了時には英語で修士論文を執筆できる。

<英米文学専攻 総合コース>

【専門分野の知識・理解】

（D P 5）イギリス文学文化、アメリカ文学文化、英語学、英語教育の十分な基礎的知識を修得している。

（D P 6）D P 5に加えて、コア・カリキュラムの履修により、より幅広い視野から専門分野の研究が行える基礎的知識を修得している。

【研究能力及び発信力】

（D P 7）専門分野について英語で論文を書くことができる。

<英米文学専攻 英語教育コース>

【専門分野の知識・理解】

（D P 8）英語教育研究の最新の動向に触れ、理論と教育方法の十分な基礎的知識を修得し

ている。

(D P 9)コア・カリキュラムの履修により、英語教育の場にかせるイギリス文学文化、アメリカ文学文化、英語学の基礎知識を修得している。

(D P 10)英語教員に必要な英語運用能力を修得している。

【研究能力及び発信力】

(D P 11)修了時には、英語で課題レポートを執筆できる。

<日本文学専攻 研究コース>

【専門分野の知識・理解】

(D P 1)日本語学又は日本文学の分野に関する高度な専門知識と、関連分野に関する深い知識を修得している。

【研究能力】

(D P 2)日本語学又は日本文学の分野に関して、独自の研究課題を発見し、それを探究することのできる高度な研究能力を身に付けている。

【コミュニケーション能力】

(D P 3)日本語学又は日本文学の分野の研究者として、自らの主張や見解を根拠に基づいて論理的に伝えるとともに、他者の意見や論理を深く理解することのできるコミュニケーション能力を有している。

<日本文学専攻 総合コース>

【専門分野の知識・理解】

(D P 4)日本語学及び日本文学の分野に関する専門知識と、関連分野に関する基本的な知識を幅広く修得している。

【研究能力】

(D P 5)日本語学又は日本文学の分野に関して、自分の研究課題を設定し、それを調査・分析する能力を身に付けている。

【コミュニケーション能力】

(D P 6)日本語学及び日本文学の分野に関する知識や自らの主張・見解を根拠に基づいて積極的に発信するとともに、他者の意見を的確に理解する能力を有している。

<社会文化論専攻 研究コース>

【専門分野の知識・理解】

(D P 1)歴史学、文化人類学、国際関係研究、地域研究、比較文化研究、社会学、メディア研究等の研究領域のうち選択する分野において、創造性豊かで優れた研究者として活動を行っていくために必要とされる高度な専門知識を修得している。

(D P 2) 歴史学、文化人類学、国際関係研究、地域研究、比較文化研究、社会学、メディア研究等の研究領域のうち選択する分野以外においても、分野を横断した幅広い視野を身につけている。

【研究能力及び発信力】

(D P 3) 歴史学、文化人類学、国際関係研究、地域研究、比較文化研究、社会学、メディア研究等の研究領域のうち選択する分野の研究者として、自らの研究課題を発見し、オリジナリティのある研究成果を適切に表現する論文作成能力を修得している。

(D P 4) 専門家にふさわしい責任感と倫理性をもって研究活動する意識を身につけている。

<社会文化論専攻 総合コース>

【専門分野の知識・理解】

(D P 5) 歴史学、文化人類学、国際関係研究、地域研究、比較文化研究、社会学、メディア研究等の研究領域のうち選択する分野において、優れた研究活動を行っていくために必要とされる専門的知識を修得している。

(D P 6) 歴史学、文化人類学、国際関係研究、地域研究、比較文化研究、社会学、メディア研究等の研究領域のうち選択する分野以外においても、幅広い視野を身につけている。

(D P 7) 専門的な知識をもとに、それを実践的活動へ導く能力を修得している。

【研究能力及び発信力】

(D P 8) 歴史学、文化人類学、国際関係研究、地域研究、比較文化研究、社会学、メディア研究等の研究領域のうち選択する分野において、自らの研究課題を発見し、研究成果を適切に表現する能力を修得している。

(D P 9) 責任感と倫理性をもって研究活動する意識を身につけている。

なお、修士論文及び特定課題研究の成果について、全専攻共通の評価基準として次を定める。

[修士論文評価の基準]

- 1 研究テーマの学問的意義および独創性
- 2 問題探究意識の高さ
- 3 先行研究への目配りおよび取扱いの適切性
- 4 論旨の明快さと整合性、主張するところの明瞭性
- 5 資料の収集および調査方法の適切性
- 6 表現および表記法の適切さ

[特定課題研究の成果評価の基準]

- 1 特定課題に対する取り組み方の適切性
- 2 先行研究への目配りおよび取扱いの適切性
- 3 論旨の明快さと整合性、主張するところの明瞭性
- 4 資料の収集および調査方法の適切性
- 5 表現および表記法の適切さ

(2) 博士後期課程

<英米文学専攻>

【専門分野の知識・理解】

(DP 1) 研究者として自立して活動するために必要とされる、各自の専門分野における高度な専門的知識や理論（文学批評理論、文化批評理論、言語学理論、第二言語修得理論等）を修得している。

【研究能力及び発信力】

(DP 2) 英米文学文化研究、英語学研究、あるいは英語教育の学術的発展に貢献できる創造性豊かな研究能力及び研究成果を適切に表現する論文作成能力を修得している。

<日本文学専攻>

【専門分野の知識・理解】

(DP 1) 日本語学又は日本文学の分野に関して、研究者として自立して活動するために必要な高度な専門知識を修得している。

【研究能力】

(DP 2) 日本語学又は日本文学の分野に関して、独自の研究課題を発見し、独創的な研究を展開する能力を修得している。

【コミュニケーション能力】

(DP 3) 日本語学又は日本文学の分野の研究成果を学会や専門雑誌などで発表するとともに、他の研究者と議論したり、共同研究に参加したりする能力を身に付けている。

<社会文化論専攻>

【専門分野の知識・理解】

(DP 1) 歴史学、文化人類学、国際関係研究、地域研究、比較文化研究、社会学、メディア研究等の研究領域のうち選択する分野において、研究者として自立して活動するために必要な高度な専門的知識を修得している。

【研究能力及び発信力】

(DP 2) 歴史学、文化人類学、国際関係研究、地域研究、比較文化研究、社会学、メディア研究等の研究領域のうち選択する分野において、その分野の学術的發展に貢献することのできる創造性豊かな研究能力及び研究成果を適切に表現する論文作成能力を修得している。

(DP 3) 専門家として未解決の諸問題に主体的に取り組みつつも、責任感と倫理性をもって活動する意識を身につけている。

なお、博士論文について、全専攻共通の評価の基準として、上記の修士論文評価の基準に加え、学界に対する学術的寄与の度合いを含める。